

## 平成22年国勢調査の企画に関する検討会（第6回）議事概要

1 日 時 平成19年12月19日（水）13時30分～15時40分

2 場 所 総務省統計局6階特別会議室

### 3 出席者

構 成 員：堀部政男座長、阿藤誠委員、井出満委員、廣松毅委員

オブザーバ：小野島正彰（東京都総務局統計部人口統計課長）、桐生敏夫（横浜市行政運営調整局総務部総務課統計等担当課長）、千原重利（豊中市総務部次長兼情報公開課長）

総 務 省：川崎茂統計局長、下河内司統計調査部長、飯島信也総務課長、杉山茂調査企画課長、千野雅人国勢統計課長、羽渕達志国勢統計課調査官、高見朗経済基本構造統計課長

### 4 議 題

- (1) 平成22年国勢調査第1次試験調査結果の概要及び今後の対応方針について
- (2) 平成22年国勢調査の調査項目について
- (3) 国勢調査法令検討会について
- (4) その他

### 5 配布資料

資料1-1 平成22年国勢調査第1次試験調査結果の概要

資料1-2 平成22年国勢調査第1次試験調査結果を踏まえた今後の対応方針について

資料2-1 平成22年国勢調査 調査項目の選定の考え方（案）

資料2-2 平成22年国勢調査 追加・廃止を検討する調査項目（案）

資料3 国勢調査法令検討会の開催について（案）

参考1 国勢調査電子調査票の操作体験（テスト）の実施について

参考2 平成22年国勢調査関係者会議について

### 6 議事概要

(1) 第1次試験調査の結果と今後の対応方針について、資料1-1及び資料1-2に基づき事務局から説明がなされた後、意見交換が行われた。本日の意見等を踏まえ、引き続き本調査及び第2次試験調査の検討を進めることとされた。主な意見等は次のとおり。

- 今後の対応方針における「郵送提出を原則としない方法の適否の検討」と有識者懇談会報告における「郵送提出を原則」との関係について質問があり、同報告に沿って実地の検証を行った結果であり、その適否について第2次試験調査でさらに検証したいとの説明があった。
- ノーカーボン複写方式できちんとした世帯名簿を作成することができるか、検証する必要がある。
- ベテランで優秀な調査員を活用して審査を担う指導員とするなど、調査員の効果的な活用方策について検討する必要がある。

- オートロックマンションが多い都市部では、面接できない世帯への対応として、郵送提出が有効ではないか。
  - ワンルームマンションなどに居住する単身世帯に対しては、郵送提出の効果がみられないため、調査員による効果的なフォローアップなどの対応が必要である。
  - 郵送提出のメリットは、調査員の負担軽減と面接できない世帯の調査票提出の利便性と考えていたが、試験調査の結果をみると、調査票提出率は改善されないようである。
  - 多様な調査票提出方法の中から任意に世帯が選択する場合、調査員が混乱するおそれがあるため、調査票の提出方法の基本を定める必要がある。
  - 調査票の一括入力、コンピュータによるチェックを経て、調査票データにより審査・訂正を行う方法は、調査員や市区町村の事務負担軽減に資するものと期待しており、具体的な事務の流れを早期に示してほしいとの意見があり、第2次試験調査において、可能な限り、平成22年国勢調査を想定した擬似的な方法を検証したいとの説明があった。
- (2) 平成22年国勢調査調査項目の選定の考え方、追加・廃止候補について、資料2-1及び資料2-2に基づき事務局から説明がなされた後、意見交換が行われた。本日の意見等を踏まえ、引き続き検討を進めることとされた。主な意見等は次のとおり。
- 調査項目の検討に当たり、関係学会などの有識者の意見を聴取しているかとの質問があり、人口学会や計画行政学会などの学会の方々から個別にご意見を伺っているとの説明があった。
  - 大規模調査と簡易調査の調査項目数のあり方などについても、人口・世帯統計全体の体系的整備を含め長期的な観点から、統計委員会などの場で検討される必要がある。
  - 人口移動の状況を把握する調査項目は、これまでに数度の変更がなされており、再度の変更は、時系列的な分析に支障があるのではないか。
  - 二地域居住の状況の把握には、調査票上に多くのスペースが必要となるが、国勢調査においてそれほどの必要性があるのか、疑問である。
  - プライバシーの面で難しい点もあるが、人口減少社会、少子高齢社会への対応の必要性について国民の理解が得られれば、結婚年数や出生児数を調査項目として復活すべきではないか。
  - 雇用形態について、正規、非正規の状況の把握は意義のあることだが、正確な記入が確保されるか検討が必要である。
  - 世帯員の介護の状況の把握については、社会的な課題として意義のあることだが、家庭内で介護する側の人の把握も重要である。
  - 第1次試験調査の調査票乙は、全体的に文字が詰まっているので、見やすさの観点からレイアウトについても検討すべきではないか。
- (3) 国勢調査法令検討会の開催について、資料3に基づき事務局から説明がなされ、原案のとおり開催することが了承された。構成員については、堀部座長と相談の上、選考することとされた。

- (4) 国勢調査電子調査票の操作体験(テスト)の実施について、参考1に基づき、また、平成22年国勢調査関係者会議の開催状況等について、参考2に基づき、事務局から報告があった。
- (5) 次回は、平成20年2月15日(金)15時00分から開催することとされた。